



徳島県歯科医師会総務部長 佐藤修斎 さとうしゅうさい

# Dr.佐藤の 歯医者さんは今

Vol.40

”入れ歯ケア“ワンポイントシリーズ④

『抜いて総入れ歯？  
抜かずに部分入れ歯？  
どちらがいいの？』

自分の歯がすべてなくなる  
と、上顎も下顎も総入れ歯  
となります。

入れ歯を使ったことのない  
方は、重力の法則により上顎  
の総入れ歯は落ちると考え  
がちですが、寝たきりで長期  
間放置されている場合等を  
除けば、上顎の総入れ歯は大  
体くっついていきます。

逆に、下顎の総入れ歯を  
使っている方からは、ゆるい  
はずれる・浮いてくる、といった  
訴えが少なくありません。

このことから、上顎は、部  
位によっては数歯残して部分  
入れ歯にするより総入れ歯  
の方が維持安定がよい場合

が多いのですが、下顎は、残せ  
るものなら1歯でも残して  
部分入れ歯にした方がいいで  
しょう。

しかしながら、現実には、  
上下顎とも総入れ歯の方は、  
我が国で約1千万人と推定  
されます。

なかでも、下顎の総入れ歯  
のトラブル、つまり、痛い・はず  
れる、の訴えは、圧倒的に女  
性の方が多く、これは入れ歯  
の下の顎の骨(土手)の高さ  
と広さが、男性より低くて狭  
いことによります(写真1)。

また、同じ女性でも、高齢  
の方や入れ歯経験年数の長  
い方、骨そしょう症の進行し

ている方は、さらに土手が小  
さくなっています(写真2)。  
それにもかかわらず、下顎  
の総入れ歯をうまく使ってい  
る高齢女性もいます。次号  
は、その対処のコツについてお  
話します。

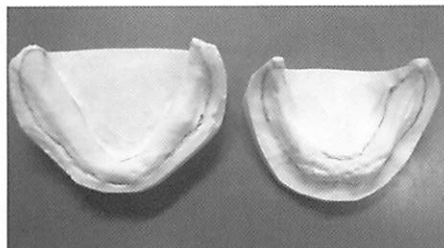


写真1:下顎模型 左:男性 右:女性

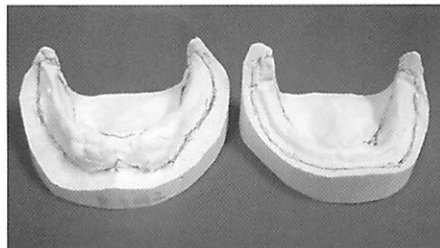


写真2:左:60歳女性 右:90歳女性